

令和2年6月29日

令和元年度(2019年度) 学校関係者評価報告書

学校法人伊藤学園
秋田情報ビジネス専門学校
秋田社会福祉専門学校
学校関係者評価委員会

令和元年度学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告します。

記

1. 日時 令和2年6月27日(土) 10時30分～12時00分
2. 場所 秋田情報ビジネス専門学校 北1-1教室
3. 出席者 [委員5名]
秋田回生会病院 医療事務室室長 松嶋 秀成
障害者支援施設雄高園 介護係長 石黒 郁子
わんわんサロン わんまる。 オーナー 工藤 明美
元秋田県中小企業団体中央会 専務理事 関 俊昭
秋田東幼稚園 幼稚園教諭 鎌田 直洋
[学校側4名]
校長 三浦 順治
秋田社会福祉専門学校 教務 工藤 敦
秋田情報ビジネス専門学校 栗山 典子
秋田情報ビジネス専門学校 山形 友子
4. 実施方法 令和元年度自己評価報告書を基に、基準項目ごとに説明と取り組みを聞き評価を行った(自己評価報告書等は事前に各委員送付済み)。
さらに、「業界動向」についても時間が許す限り、意見を伺った。

学校関係者評価委員による評価シート

評価項目	評価	評価項目	評価
(1) 教育理念・目標	4	(6) 教育環境	3
(2) 学校運営	3	(7) 学生の受入れ募集	4
(3) 教育活動	4	(8) 財務	4
(4) 学修成果	3	(9) 法令等の遵守	4
(5) 学生支援	3		

・適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

《各評価項目について》

1 教育理念・目標

専門学校を取り巻く社会環境は急速に変化している中で、教職員一人ひとりがしっかりとした問題意識を持ち、また情報収集に努め、社会に貢献できる人材の養成を目指してほしい。また、昨年度よりホームページ上で情報公開をしており、今後はより開かれた学校の運営を期待する。

2 学校運営

・さらなる業務の効率化を検討する。

3 教育活動

・一定の教育効果はあったと判断できる。

4 学修成果

・資格取得での実績は向上しており、教育はしっかりと行われている。

・就職については、秋田社会福祉専門学校においては100%だが、秋田情報ビジネス専門学校では一部の科で100%達成できていないため。

今後は、不安要素がある学生に対しては、早い段階から保護者と学校との連携を強化し、就職率向上につなげていく考えである。

5 学生支援

・学生が相談しやすい環境づくりがますます必要である。

・卒業生の声を支援体制に反映できるようにしてほしい。

6 教育環境

・施設・設備のさらなる充実を図り、学生生活環境の向上を図ってほしい。

7 学生の受入れ募集

・秋田情報ビジネス専門学校においては、昨年度の入学生より増加している。

・秋田社会福祉専門学校においては、2021年度募集での学科改編が行われる。改めて学校の存在意義を問われる部分でもあると思われるので、引き続き、募集活動に努力してほしい。

8 財務

・特に問題ないと判断した。

9 法令等の遵守

・特に問題ないと判断した。

以 上